

海津市まちづくり委員会「第9回ふるさと定住促進検討分科会」会議録

開催年月日 平成22年4月26日(月)  
開催場所 海津市役所海津庁舎3階「委員会室」  
分科会委員定数 14名  
開 会 午後1時30分  
閉 会 午後4時20分  
出席者 ○分科会委員  
岐阜経済大学経済学部教授 池 永 輝 之  
公募市民 村 上 碩 也  
公募市民 本 多 高 洲  
公募市民 古 川 義 弘  
公募市民 藤 田 繁 己  
公募市民 加々本 紘 一  
公募市民 堀 田 義 郎  
公募市民 坂 本 由 貴  
公募市民 伊 藤 祥 子  
公募市民 柴 田 夕 子  
女性人材リスト登録者 石 川 晴 代  
○事務局 // 係長 後 藤 政 樹  
// 主任 毛 利 卓 司  
欠 席 者 女性人材リスト登録者 安 部 晶 子  
高須生活学校代表 加 藤 佳 余 子  
海津市自治連合会代表 諏 訪 薫

会議次第

1. 開会
2. あいさつ
3. グループワーク
  - ・人口流出対策を分野ごとに企画  
課題シートをもとに、具体的な人口流出の抑止対策を企画する。  
テーマ(分野)  
【職業・職場】【出産・子育て】【教育環境】【生活環境】【自然環境】  
【都会への憧れ】【高齢者】【地域コミュニティ】【その他】
4. 今後の検討方法等について
  - ・企画シートについて
    - ① 企画シート作成(1回の分科会で2テーマ以上)
    - ② 想定コスト・想定リスクの検討
    - ③ 整理、絞り込み
  - ・先進地視察について
5. その他
6. 閉会

会議録（要約）

事務局	<p>ただいまから海津市まちづくり委員会「ふるさと定住促進検討分科会」第9回目の会議を開催させていただきます。 はじめに会長よりあいさつをお願いします。</p>
会 長	<p>（あいさつ）</p>
事務局	<p>ありがとうございました。 それでは次第にしたがいまして進めさせていただきます。 本日は、個別対策について企画案を作っていたいただきたいと思います。以前、各委員から提出いただいた課題シートを参考に、グループごとに話し合っまとめていただきたいと思います。企画シートを皆さんにお配りしてありますので、そのシートに企画内容を書き込んでいただき、最後に発表していただきます。参考までに企画シートの記述例もお配りしてありますのでご覧ください。 こうした作業を今後も繰り返し行いながら、流出抑止対策を分野ごとにまとめていきます。1回の分科会で2テーマくらいは作っていきたいと考えますが、企画案を作成するのに要する時間について、今回は初めて行うことなので予測できませんでしたので、今日の進行具合をみながら今後のスケジュールを考えたいと思います。 また、本日の段階では企画シート中の「想定コスト」「想定リスク」の欄は記入していただかなくて結構です。この部分に関しましては、市役所の担当部署の職員も交えて、再度、みなさんと検討してまいりたいと考えています。 それでは、これからグループごとに議論を始めていただきます。本日のテーマは「職業・職場」です。よろしくをお願いします。</p> <p>&lt;グループワーク&gt;</p> <p>それでは、これからグループごとに発表していただきたいと思います。</p>
A委員	<p>Aグループの発表をします。 まずテーマの絞り込みをどうするかということで、1つ目に市外への通勤者への利便性、2つめに人口減少に対する市民の意識、3つめに親が子に家業を継がせたくないという、3つの意見、課題が出ました。 対策としては、地域のコミュニティづくりをどうするか、小さな地域でのつながりが希薄になっているので改善する仕掛けを考えていくことが必要というになりました。 家業を継ぐことについては、特に農業に対してですが、年をとってから高齢年金だけでは食べていけない、老後の生活環境がサラリーマンと比べ不利ですので、そういった部分を考える必要がありますが今のところ議論が行き詰っています。 通勤・通学者への対応については、養老鉄道を利用するにしても市役所から石津駅なり駒野駅なりにシャトルバスを通勤・通学・帰宅の時間に合わせて集中的に出したらどうか、南濃町には鉄道があるので平田や海津に整備して、モデル的に実施してみる。 その他の対策としては、デマンドタクシーを走らせる。客がいなければ車を出</p>

	<p>さなくて済むので、必要に応じて利用でき、民間での運用も視野に検討対象になりうるのではないかという意見がありました。また、南濃町のように最寄に駅があっても養老鉄道を利用しない、これはなぜかという、若い人は縛られるのを嫌い、マイカーを使うことによって時間に縛られず行動できるということが考えられます。こうしたことから例えば養老鉄道沿線の駅の駐車場料金に対して補助金を出すなどの方法があるのではないかという意見がありました。</p>
B委員	<p>Bグループの発表をします。</p> <p>職業・職場の問題については、働く場所と住む場所、通勤の3つに分かれると思います。海津市の職場については、就職したいと思える魅力的な企業がないというのが現状認識なのですが、それに対する努力を企業がしているかどうか、また努力をしてほしいと思います。</p> <p>住居の問題ですが、色んな支援を多市町村で行われているようなので、住民税の減免や子供手当の上乗せとか、医療費助成とか、若い人にPRして定住または移住してもらうこともいいのかと思いました。</p> <p>通勤の問題については、1時間以上かかって名古屋などに通勤しているのが現状で、それは仕方ない事なのですが、通勤している人を住まわそうという努力、家庭教育等も考えられますが、精神面だけで済ますことができないのではないか、ある程度、財政的な援助をしないと具体化しないのではないかという意見がありました。</p> <p>働き先のことで、この辺りは農業が主体の地区なので、農業を利用した1次品、2次品をうまく活用した新しい職場といえますか、そういったことに取り組んで活性化、働く場所の確保など考えたほうがよいのではないかと思います。</p> <p>また、千代保稲荷とか木曾三川公園とか海津温泉とかあるので、それらを連携活用していく方法も考えてはどうかという意見もありました。</p>
池永教授	<p>具体的な対策ということで議論がされ、みなさんの話を聞かせていただきました。</p> <p>たびたび申し上げておりますが、海津市に住んでいる若者が、市民が、外に出ていかない、地域に愛着を持てるかどうか、そういった対策を作り上げていくことが、やはり必要ではないでしょうか。</p> <p>この地域に住んでいて、自分がやりたいこと、市に望むことなどが自由に話せて、実現できる、できないはあるでしょうが自由な発言が許されて、それに参加する、そういった環境づくりが定住促進の1つの課題であり、それを追求しない限り、問題は解決されないと思います。ですからコミュニティづくり、コミュニティ施策というものを積極的に考えていくことが大切なことだと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>さて、今回は対策の企画をしていただきましたが、グループで1つのテーマを出し、具体的な話を作る、という作業だったので時間が足りなかった印象を受けました。そこで、今後は事前課題ということで前もってテーマを示し、みなさんそれぞれが予め企画を考えておいていただきたいのですが、いかがでしょうか。分野毎に企画案を作っていくので、会議日程を考えると、少々ご負担をお願いするしかないのかなと思います。企画シートを作りこんでいただくまではいかななくても、イメージだけでも作っていただくとスムーズな議論ができ</p>

	<p>るのではないかと思いますのでよろしくお願いします。次回も引き続き同テーマで進めさせていただきますので、今日の議論を掘り下げる、また別の案でも結構ですので、イメージしておいていただきますようお願いします。</p> <p>C委員 企画をせよということですが、分科会での検討結果の報告書を作成されますよね。それはどのくらいの分量、内容を考えてみえるのですか。細かな対策まで盛り込まれるのか、方向性だけですか。</p> <p>事務局 検討結果は、検討が進んだところまでをまとめるつもりです。今回から具体的な対策を考えていただくという作業に入っていました。今後も企画案をいくつか皆さんに出していただきたいと考えています。それがある程度出そろったところで、市の担当者を交えて、より詳細な議論をし、分科会としての企画（提案事項）を挙げていきます。</p> <p>報告書のまとめ方としては、以前、重要課題として挙げさせていただいた「コミュニティ施策」と「若者に的を絞った支援策」の2つを柱に、企画シートや今後のワークショップなどの意見を集約して、事務局でまとめていきたいと考えています。</p> <p>続きまして、先進地視察の件ですが、6月と7月で日程調整を行いたいと思います。全員の都合が一致しない場合は、より多くの委員さんが参加できる日で調整していきますので予めご了承ください。後日、電話もしくはメールにてお問い合わせしますのでご協力をお願いします。</p> <p>以上をもちまして海津市まちづくり委員会「第9回ふるさと定住促進検討分科会」を終了いたします。</p>
--	--